

「大平グループ環境基本方針」

登録文書番号	E520-D1	氏名	印
登録日	2025-1-14	制定者：鷺野 祐也	
	第9版	登録者：城山 富夫	

「信條」

- 一、仕事を通して世の中のお役に立つことを願とする。
- 一、仕入れ先、販売先を大切にする。
- 一、製品をお使いになる方々のしあわせを祈り、生産と販売に従事する。
- 一、全てに実意、丁寧、親切にする。
- 一、健康で明るく楽しい家庭づくりに努力する。

この文書は、当社の社員をはじめとした関係者、お客様、取引先企業の皆さん、当社に関心を持ってくださるすべての方々にお伝えするものです。

わたしたち、大平グループ（大平工業(株)、デンタルプロ(株)、曾爾産業(有)）は、これまで当社の「信條」（首記5箇条）にしたがい、口腔衛生の分野で、価値ある製品を消費者に提供することを通じて、社会貢献を継続してきました。

今後も仲間同士の幸福を高め、お客様の満足を高めるとともに、以下の通り「環境マネジメントシステム（以下、EMS）」を活用して、公益たる環境保全への責任を果たしていきます。

1. 地球温暖化などの気候変動リスクを低減させていくために、私たちの本業、すなわち「歯ブラシ、歯間ブラシ」等の製造段階、検査・包装段階、運搬・販売段階、および、使用後の廃棄段階に至る“ライフサイクル”全般における環境負荷、とりわけ二酸化炭素やフロンガスなど温室効果ガスの排出を、当社のEMSを活用して、より一層の効率化や新たな発想で削減・抑制していきます。
2. このEMSを、引き続き適切・妥当・有効とするための継続的改善を、トップマネジメント自ら推進していきます。
3. 当社のEMSでは、環境面の価値はもちろんのこと、お客様をはじめとしたステークホルダーへの「社会的責任（SR）」を果たしていくために、国際規格ISO26000の考え方を反映させていきます。
4. コロナ禍以降の多様なリスクに対応するため、事業継続計画（BCP）を含むリスク管理によって、業務停滞や実害抑制を図り、同時に環境汚染を未然に防止します。
5. 法規制や契約・約束・宣言を含む順守義務を果たします。
6. 将来的な事業活動の拡大に向けては、生物多様性にも配慮し、SDGsへの取り組みを反映させていきます。
7. 近い将来のプラスチック製品規制に備えて、拡大生産者責任の一環として、製品および包装材のプラスチック廃棄物抑制を目指した構想・企画を奨励していきます。

サステナビリティ社会における環境リーダー企業となるべく、この環境基本方針の内容を実現、実行するために、職場環境や労働条件の整備、改善を継続させていきます。

代表取締役会長 佐野 晃
代表取締役社長 佐野 健二
常務取締役 鷺野 祐也